

Supporting Member's Speciality

日本総合建設株式会社

1. はじめに(会社紹介)

日本総合建設は、昭和32年4月、井戸やボーリングといった特殊土工事専門の会社として設立され、地すべり対策事業という概念ができた草創期から、長野県内の地すべり対策に関わってきました。現在は長野市若里の本社、松本市島内の支店を拠点に、地域の人々の生活を守るため日々奮闘しています。



ここでは、2019年4月に入社した新人の私たち二人が、当社についてご紹介します。

2. たくさんの地すべり地がある

長野の企業だからこそ…

2.1 地すべり地への責務を忘れないために

ご存じのように、長野県は地すべり危険箇所が全国1位、地すべり防止区域は全国3位と、日本有数の地すべり地です。代表的な災害として、明治から昭和に亘り動いた茶臼山地すべり、また昭和60年に26名もの死者を出した地附山地すべりがあります。当社では、自ら関わった現場のその後を知ることは責務と考え、定期的に地すべり地に向き合う機会を作っています。昨年は茶臼山にて、集水井などの地すべり防止施設の点検を兼ね、公園内の清掃活動（エコアクション）を行いました。地すべり地は私たちの患者さんであり、患者さんに「愛着」をもって長く付き合う。会社の理念を感じることができました。

2.2 地域の防災意識向上のために

当社では、地域の方々に地すべりのことを知ってもらいたいという思いから、学会活動を通じた社会貢献にも取り組んでいます。今年も、当学会中部支部が取り組む若手育成事業の中で、「地すべりフェス」という企画に携わりました。この企画は、地域の観光要素を生かしながら、ガイドウォーキングやロゲイニングなどの催しを楽しみながら、地すべりについて学べるイベントです。開催直前に台風被害に見舞われ、残念ながら中止となってしま



エコアクションの様子

いましたが、イベントスタッフだけでなく地元企業や、行政職員といった、地元を愛する多くの人が、一丸となって企画したイベントでした。「災害の体験を“つなぐ”。地すべりと共に歩んできた会社ならではの取り組みを、これからも続けていきたいです。

3. 新人の視点から印象に残ったこと

入社して1年と経たない私たちですが、先輩社員からの「現場は生き物。うまくいく前提で動くな」という言葉が強く印象に残っています。入社当初は、「ざっくりと計画を立てておけばなんとかなるだろう」と甘く見ていた部分もありましたが、現場に行くと計測機器の不具合、現場周辺での新たな斜面崩壊の発生など、思いがけないことばかりで、先輩社員の言葉を痛感することとなりました。計画段階で可能な限りのトラブルを予測し、トラブルが生じてもすぐに立て直しがきくような段取りをすることが大切だと学びました。

また、現場では体力を使う上に、天気に恵まれないことも多く、想像以上に大変でした。どの先輩社員も口には出さないものの、更に厳しい状況乗り越えてきたのだと改めて実感しました。そのような姿に、大変な思いをしたとしても「暮らしを守りたい」といった、強い信念を感じました。

4. おわりに

最後になりますが、本年10月には台風19号で長野県を含め多くの地域で甚大な被害がありました。入社1年目の出来事で、改めて私たちの生活は、災害と隣り合わせにあると気づかされました。台風19号で被害にあわれた方々に、心よりお見舞い申し上げますと共に、社員一同、地域を守るために責任感を持って技術研鑽に励んで参ります。

お問い合わせ先：

日本総合建設株式会社

〒380-0928 長野県長野市若里2-15-57

TEL：026-226-0381 FAX：026-228-3420

URL：<http://www.nihonsougou.co.jp/>

